

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	下部消化管出血に対する炭酸ガス造影を用いた動脈塞栓術の有効性と安全性の検討
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部救命救急医学 助教 北村 遼一
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	下部消化管出血に対する治療法としてカテーテルを用いて血管内から出血部位を塞栓する動脈塞栓術という治療が行われることがあります。しかし、下部消化管出血は間欠的な出血であることが特徴とされており、治療中に出血源が判明せず、塞栓術を行うことができないまま、再出血を来することが多くあります。近年、出血源を特定するために炭酸ガス造影が注目されていますが、下部消化管出血で使用された報告はまだ多くはありません。本研究は、過去に当院救命救急・災害医療センターで下部消化管出血に対して炭酸ガス造影を用いて動脈塞栓術を行った症例を検討し、その安全性と有効性を評価することが目的です。
調査データ 該当期間	2007年1月1日から2023年5月10日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内に下部消化管出血で当院救命救急・災害医療センターに入院され、動脈塞栓術を施行された方
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2007年1月1日から2023年5月10日までに動脈塞栓術を行った方の電子カルテに記載のある診療記録、血液・画像検査で得られたデータを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。本研究の遂行のための費用は医学部救命救急医学一般研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。

	ますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 所属・職位:医学部救命救急医学 助教 担 当 者:北村 遼一(キタムラ リョウイチ) 電 話: 042-778-8111
備 考	